

## 編集後記

理学療法士の資格を取得し一般病院に就職したばかりのころ、臨床実習で学べなかった小児分野をどうしても勉強したくて、就学前の通所施設に研修に行ったことがあります。今も忘れることができない心震える貴重な2年間でした。現在、私は地域や高齢者を専門としています。その基盤はこの2年間で培われたといっても過言ではありません。

当時は重度障害の小児の嚥下障害に対しては理学療法士が中心になってかかわっていました。「摂食・嚥下機能を向上させるためには口腔周辺だけでなく、体幹をはじめとする全身の運動機能へのかかわりが重要である」と語った大先輩の指導は脳裏に深く残り、高齢者施設では積極的に嚥下障害のある高齢者に理学療法を提供しました。嚥下がクローズアップされてきたのはごく最近のことですが、理学療法士はかなり昔からメカニズムを学び、その部分にかかわってきたのではないのでしょうか。

本特集の企画にあたっては、エディトリアルで先陣を切る小塚直樹先生にご協力いただきました。中徹先生は、小児理学療法の動向を療育の理念を提唱した高木憲次先生の時代から現在に至るまでの経緯をあらゆる側面から述べられ、藪中良彦先生は脳性麻痺研究の現状と課題、そして理学療法士はどのような研究を手掛けていけばよいかについてわかりやすく紹介されています。日本語は紛らわしいもので、「発達障害」という言葉は広義では小児の発達の障害を意味しますが、発達障害児となれば(社会的スキルなどの障害を持つ児童とされ)狭義と捉えられます。本特集には近年注目されている発達障害児の話題を盛り込ませていただき、新田収先生と前本薫先生から発達障害児の運動障害とプログラム提案、発達障害児の訪問による早期理学療法について述べていただきました。お二人の論文を拝読し、「この特集だけで終らせたくない」と感じています。最後の樋室伸顕先生は家族を視野に入れた理学療法について述べられており、この部分も理学療法士が努力すべき重要な部分であると痛感しています。

小児という存在は、障害があってもなくても家族や友人や専門家のかかわり方ひとつで人生を大きく揺さぶられるものです。臨床研究を積み重ね、子供の成長と未来を見据えた理学療法が確立できるよう研鑽を重ねてほしいと心から願います。

(金谷さとみ)

## 編集顧問

安藤 徳彦  
上田 敏  
大川 弥生  
高橋 正明  
鶴見 隆正  
奈良 勲  
福屋 靖子

## 編集委員

網本 和  
内山 靖  
金谷さとみ  
高橋 哲也  
永富 史子  
福井 勉  
山田 英司  
横田 一彦  
吉尾 雅春

## 編集同人

伊橋 光二  
大場みゆき  
岡西 哲夫  
神谷健太郎  
日下 隆一  
甲田 宗嗣  
河野 礼治  
小塚 直樹  
酒井 桂太  
佐藤 秀一  
佐藤 房郎  
塚田 鉄平  
塚本 利昭  
富樫 誠二  
長澤 弘  
長野由紀江  
中林美代子  
中村 春基  
野添 匡史  
長谷川隆史  
濱出 茂治  
備酒 伸彦  
日野 工  
平野明日香  
深浦 順一  
福田恵美子  
二木 淑子  
星 文彦  
松田 雅弘  
丸田 和夫  
諸橋 勇  
八木麻衣子

## 理学療法ジャーナル

第51巻 第12号

2017年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価：本体1,800円+税

発行 株式会社 医学書院  
代表者 金原 優  
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
電話 本誌編集室直通(03)3817-5704  
(担当：吉田・佐井・川上・前野)  
販売部直通(03)3817-5659  
ファクシミリ (03)3815-7802  
E-mail ptj@igaku-shoin.co.jp  
Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ptj/  
振替口座 00170-9-96693 番  
印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005  
広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

2017年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)  
冊子版 19,920円  
冊子+電子版/個人 22,920円  
電子版/個人 19,920円  
冊子版/学生割引 15,960円  
冊子+電子版/学生割引 18,960円  
電子版/学生割引 15,960円

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2017. Printed in Japan  
・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有しています。  
・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。  
・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>  
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。  
\*「理学療法ジャーナル」は、株式会社医学書院の登録商標です。